

長野県展示ブース



行政、NGO、企業等の計二〇八のブースが設けられ、「生物多様性」をテーマに行われました。各展示を見て、「生物多様性」ということを伝えていくことの難しさを感じました。「生物多様性」は「自然保護」や「希少な動植物の

保護」ということになりがちで、実際そのような展示内容が多く見受けられました。「自然保護」や「希少な動植物の保護」ということも大切なことで行っていかねければならないことです。しかし、私たちが暮らしている「まち」も一つの生態系であり、例えば、普段の食事においても様々な種類の魚、肉、野菜等を食べていることなど、身近な生物多様性を意識し

て暮らしていくことも重要かと思えます。この期間中に生物多様性交流フェアを訪れたのは、十一万八千人余りですが、今後の取組みにより、さらに多くの人々に「生物多様性」を知らしめていくことがまずは大事なのではないのでしょうか。そして、身近な生物多様性にも目を向けていってもらえたらと思います。

去る十月十六日(土)、十七日(日)に、「生活と環境まつり2010」が行われました。このまつりは、飯田下伊那地域のイベントとして毎年開催されているもので、「いきいきみんなの生活展」、「飯田市環境フェア」、「健康いいだ21フェスティバル」を合同で開催するものです。本年度は、飯田文化会館において行い、二日間で約三千二百人が来場

「生物多様性」とは、大きく分けて「生態系の多様性」、「種の多様性」、「遺伝子の多様性」という三つの概念から成り立ちます。「生態系の多様性」とは、地形地質、気候、生物の活動などにより作り出された様々な生態系(森林、河川、湖沼、里山等)が存在すること、「種の多様性」とは、様々な生物種が存在すること、「遺伝子の多様性」とは、同種の中に様々な個体が存在して、遺伝的な違いが多く存在することを指します。

行政、NGO、企業等の計二〇八のブースが設けられ、「生物多様性」をテーマに行われました。各展示を見て、「生物多様性」ということを伝えていくことの難しさを感じました。「生物多様性」は「自然保護」や「希少な動植物の

保護」ということになりがちで、実際そのような展示内容が多く見受けられました。「自然保護」や「希少な動植物の保護」ということも大切なことで行っていかねければならないことです。しかし、私たちが暮らしている「まち」も一つの生態系であり、例えば、普段の食事においても様々な種類の魚、肉、野菜等を食べていることなど、身近な生物多様性を意識し

て暮らしていくことも重要かと思えます。この期間中に生物多様性交流フェアを訪れたのは、十一万八千人余りですが、今後の取組みにより、さらに多くの人々に「生物多様性」を知らしめていくことがまずは大事なのではないのでしょうか。そして、身近な生物多様性にも目を向けていってもらえたらと思います。

車との違いを体感しました。二日目は、声優・歌手として活躍されている松川町出身の並木のり子さん率いるユニット「にやんだぶう」によるファミリーコンサートが行われ、四百人ほどの親子がエコについて歌と踊り、読み聞かせして学びながら楽しく過ごしました。その他、出展ブースコーナーで省エネアドバイザーによる省エネ講習会や屋外ではペレットストーブの展示、生ごみ堆肥を利用したガーデニング講座など様々な催しが行われ、「参考になった」、「楽しかった」などの感想をたくさん頂きました。

生物多様性交流フェア開催
 ～COP10に併せ 長野県も参加～

「生活と環境まつり2010」が行われました。このまつりは、飯田下伊那地域のイベントとして毎年開催されているもので、「いきいきみんなの生活展」、「飯田市環境フェア」、「健康いいだ21フェスティバル」を合同で開催するものです。本年度は、飯田文化会館において行い、二日間

て暮らしていくことも重要かと思えます。この期間中に生物多様性交流フェアを訪れたのは、十一万八千人余りですが、今後の取組みにより、さらに多くの人々に「生物多様性」を知らしめていくことがまずは大事なのではないのでしょうか。そして、身近な生物多様性にも目を向けていってもらえたらと思います。

車との違いを体感しました。二日目は、声優・歌手として活躍されている松川町出身の並木のり子さん率いるユニット「にやんだぶう」によるファミリーコンサートが行われ、四百人ほどの親子がエコについて歌と踊り、読み聞かせして学びながら楽しく過ごしました。その他、出展ブースコーナーで省エネアドバイザーによる省エネ講習会や屋外ではペレットストーブの展示、生ごみ堆肥を利用したガーデニング講座など様々な催しが行われ、「参考になった」、「楽しかった」などの感想をたくさん頂きました。

昨年、今年と会社の中で行ってきた取組に、『おひさま0円システム』というものがある。お客さんは太陽光発電システムを初期費用無料で設置する代わりに、その後、電気料金を定額で九年間支払い、十年目からは負担無しになるというものだ。太陽光発電は、かつて投資回収をするといっても二十年ほどかかる時代があり、「二百万円もかか

この『おひさま0円システム』。思いはあるがお金や心配により設置できないといった方が、安心して、負担を大きく感じることなく、自然エネルギーを利用できる仕組みの一つと自負している。近い未来に、自分の使うエネルギーを選べる時代が来ると信じている。『環境負荷』という要素を加



中学生の部 優秀 竜峡中学校 1年 大原智也
 中学生の部 最優秀 飯田西中学校 3年 千葉有紀子
 中学生の部 優秀 合庁玄関ホールに展示する予定。来庁の際は、是非ご覧になって、環境問題に対する意識をさらに高め

「地球から聞こえる悲鳴 気付いてる?」 高陵中学校 3年 小澤愛莉紗
 「エコクッキングで募集」 長野県では、食べ残しを減らす工夫がしばしば詰まっていた料理講座 信州「エコクッキング」を飯田・下伊那地区において三回開催します。皆さん是非ご参加ください。

「エコクッキングで募集」 長野県では、食べ残しを減らす工夫がしばしば詰まっていた料理講座 信州「エコクッキング」を飯田・下伊那地区において三回開催します。皆さん是非ご参加ください。



「おひさま0円システム」というものがある。お客さんは太陽光発電システムを初期費用無料で設置する代わりに、その後、電気料金を定額で九年間支払い、十年目からは負担無しになるというものだ。太陽光発電は、かつて投資回収をするといっても二十年ほどかかる時代があり、「二百万円もかか

中学生の部で最優秀を受賞 環境保全に関するポスター・標語入賞作品決定 県と「信州豊かな環境づくり県民会議」の共催による、環境保全に関するポスター・標語コンクールが行われ、管内の各学校の協力の下、環境保全に関するポスター・標

「標語入賞作品」 小・中学生の部 優秀 「エコ活動 心も地球もびかびかに」 高陵中学校 3年 小澤愛莉紗
 中学生の部 入選 松川中学校 2年 岡島あすか

「標語入賞作品」 小・中学生の部 優秀 「エコ活動 心も地球もびかびかに」 高陵中学校 3年 小澤愛莉紗
 中学生の部 入選 松川中学校 2年 岡島あすか

「エコクッキングで募集」 長野県では、食べ残しを減らす工夫がしばしば詰まっていた料理講座 信州「エコクッキング」を飯田・下伊那地区において三回開催します。皆さん是非ご参加ください。

リレーメッセージ
 太陽光発電普及への取り組み
 地球温暖化防止活動推進員
 谷口彰(飯田市)

「おひさま0円システム」というものがある。お客さんは太陽光発電システムを初期費用無料で設置する代わりに、その後、電気料金を定額で九年間支払い、十年目からは負担無しになるというものだ。太陽光発電は、かつて投資回収をするといっても二十年ほどかかる時代があり、「二百万円もかか

中学生の部で最優秀を受賞 環境保全に関するポスター・標語入賞作品決定 県と「信州豊かな環境づくり県民会議」の共催による、環境保全に関するポスター・標語コンクールが行われ、管内の各学校の協力の下、環境保全に関するポスター・標

「標語入賞作品」 小・中学生の部 優秀 「エコ活動 心も地球もびかびかに」 高陵中学校 3年 小澤愛莉紗
 中学生の部 入選 松川中学校 2年 岡島あすか

「エコクッキングで募集」 長野県では、食べ残しを減らす工夫がしばしば詰まっていた料理講座 信州「エコクッキング」を飯田・下伊那地区において三回開催します。皆さん是非ご参加ください。

「エコクッキングで募集」 長野県では、食べ残しを減らす工夫がしばしば詰まっていた料理講座 信州「エコクッキング」を飯田・下伊那地区において三回開催します。皆さん是非ご参加ください。

**太古と未来の中において
希少野生動物保護監視員
北沢 あさ子(飯田市)**

ハナノキ湿地(※)で二〇〇七年から、植物、鳥、大型哺乳類、チョウの調査を始めました。この調査は、環境省のプロジェクトで「モニタリング1000」と呼ばれ、日本の千箇所(重要生態系監視地域)をおおむね百年間続け、日本の自然の現状を把握し、保全をしていくという目的で、はなのき友の会によって行われています。



トンボのように群れ、十一月には、霜にやられて黒くなったり縮れた一帯から、常緑のツルシキミが蕾を持ってつややかな姿を初めて見せ、霜も面白いと思えました。

一般的に、ハナノキが生息する湿地は経済的に価値のない所と思われ、ゴミ処分場などにされてきました。ところが、そこは、生物多様性の高い、無限大の楽しみ場です。自然をしっかりと見つめないうえに、何気ない生活をしている

と、足元で起こっている季節の変化や生命の営みなど大きな喜びを何も知らずに過ぎてしまいうらないで過ごすことに気が付きました。
*飯田市山本地籍の一部
庭、学校、社会が一体となって辛抱強く取り組むことが重要と思われ、ゴミのない美しい自然

**快適な生活環境を目指して
不法投棄監視連絡員
浅井征雄(根羽村)**

産業廃棄物の不法投棄やゴミのポイ捨てが大きな社会問題となり、全国的にゴミ運動が展開されている中、私の住む根羽村でも全村民の協力を得てゴミ拾いを始めており二十年以上が経っております。その後、小中学生や各種団体も定期的に道路や河川の清掃を実施



しかし、一時期に比べてゴミは減少しているものの、人家のとぎれた道端や農地等に相変わらず捨てられております。過疎、高齢化の進む山間地域ではこれらの土地の適正管理が困難な状況になってきておりますが、少しでも草刈等の手入れをして『捨てにくい環境』を作ることも防衛策の一つと思われ、また、不法投棄や環境問題に関心をもち、ゴミは捨てないというごく当たり前の考え方を持った『人づくり』を家

夜間パトロール実施中



午後五時、車のドアに「不法投棄防止パトロール実施中」のマグネットシールを貼り、夜間パトロールへ出発です。
地方事務所では廃棄物の不法投棄や野外焼却などの防止・抑止を図るため飯田下伊那地域の夜間パトロールを実施しています。今回は、その様子を紹介します。
今日のコースは一市三村を回るコース。国道、主要地方道を走り、道路の待避場に車を止めて駐車監視を行います。通り過ぎる車両を見ながら、こんな時間に山の方へ向

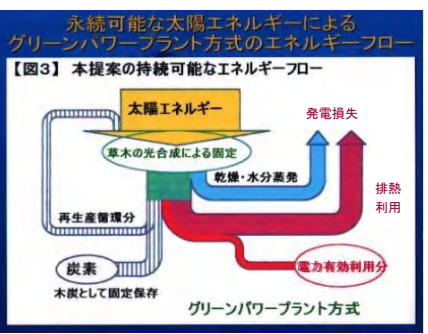
**小手先の温暖化対策で間に合う？
地球温暖化防止活動推進員
羽場 初雄(飯田市)**

五十年前、私たちは「石炭石油はいずれ無くなってしまっただろう」と教わりました。それを食い止めるため原子力発電所を開発運転するのだと、光速に近い素粒子が生命体を突き抜ける分子が傷つけられ未曾有の悪影響の恐れがあるが、上手に制御し電力を必要だけ得て、容易に制御出来る安全な施設であると。

への悪影響が、微少なホルモンの化学物質や生態内に蓄積される重金属類の影響と説明され、人類はそのメカニズムに驚愕しました。その多くは肥料を始めとする科学合成の副産物や物質を廃棄するためあるいはエネルギーを得るための燃焼に関わるものでしたが、これは低減改善対策も進み一応の成果が現れ始めました。

も解決の難しい生活圏と欲望に関するものなのです。それは人類の発生以来限りなく追求し続けてきた「何でも、より便利に！」を「エネルギーを枯渇させることなく便利に！」に、これをさらに「持続可能な将来の子孫の社会とより良い環境構築の為に！」に転換し、皆が本気で自覚し実行することが求められます。

とある工場の敷地で何か燃やしています。近くにいた社長に事情を聞き、廃棄物の野外焼却は法律で禁止されていることを持参した資料を渡し、説明しました。指示書を渡すと同時に後日また連絡を取ることにし、パトロールコースに戻ります。
最終処分場の跡地にきました。ここは近くに民家はなく不法投棄されるおそれのある場所の一つです。このほか、道路沿いの待避場、山林道の法面、河川敷など不法投棄



以前の公害による人体残るは、大気中の二酸化炭素の増加による膨大な量のエネルギーが大気中に貯えられ気象変動が大きくなり、従来の生物環境が影響を受け、移動不可能な生物や人類にとって深刻な影響が開始している単純な問題ですが、人類にとつて最

環境省報告書



高いのです。実際に北岳周辺では姿を見ません。既に白山、中央アルプス、八ヶ岳では絶滅したと考えられています。
私は、南アルプスを歩く時は、足元を注意して見ます。そして雷鳥の羽毛が見つかれば、この山域は棲息している証で、ほつとします。
夏山には多くの登山者が来ます。当然ですがゴミも持ち込みます。ゴミとそれを漁りに猿や狐や日本鹿等の里山の動物が、